

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	県立呉宮原高等学校 1・2・3年全校生徒（585名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ 講演会 ）
4 目標 （ねらい）	学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施することで、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進し、生徒のスポーツに対する学びを深める。
5 取組内容	パラリンピアンの方の芦田創氏を迎え、講演会を実施した。 演題は「より遠くへ」で、これまでのスポーツを通じた経験について講演を実施した。パラリンピアンとしての経験・これまでにいたるまでの経緯等ユーモアを交えながら講演をしていただいた。事前指導として体育理論の時間を使い、オリンピック・パラリンピックについての学習と、講師の紹介を行った。
6 主な成果	生徒のスポーツに対しての取り組み方や、スポーツに対しての興味関心の向上が図れた。 スポーツに対してだけでなく、人との接し方や、人間関係の作り方など、様々なことを学ぶ機会となった。 事後アンケートについても好意的な意見が多かった。（別紙参照）
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	事前指導を行い、スポーツに興味がない生徒や講師を知らない生徒に対して、できるだけ興味・関心を持ってもらえるように努めたこと。 オリンピック・パラリンピックに関する指導参考映像資料（DVD）、「I'm POSSIBLE」（資料）を活用したこと。
8 主な課題等	事前指導や、生徒がある程度の興味・関心を持ってもらえたと感じたが、全員の生徒が興味関心をしっかりと深めることができたとは言えなかったと思う。日程の確定が実施日の3週間前だったこともあり、事前指導や、事後指導の充実が十分だったとはいえない。学校行事としての設定や、他の教科との関連などに課題がある。
9 来年度以降の実施予定	今回の事業は、2回目の実施であったため、1回目よりも実施についてスムーズに行えた。生徒にとって非常に良いものとなったと感じている。スポーツの重要性はもちろんのこと、生徒が壁にぶつかったときにどうしていくかなど、様々なことを学ぶことが出来た。 来年度については、今回生徒に非常に価値のあったものとなったので、機会があれば実践していきたいと考えている。